

(9) 読書・図書館教育研究会

会長 石川 真紀 (蕨岡小)
副会長 今井 悠里乃 (東山小)
事務局 山崎 千春 (具同小)

1. 研究主題 「読書活動の推進と学校図書館の活用」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和4年 5月6日(金)	四万十市教育研究大会組織総会 ・役員選出、研究主題設定、年間計画	中村中学校	7名参加
令和4年 8月5日(金)	四万十市教育研究会夏季研修会 「読み聞かせの基本と本の紹介について」 講師 四万十市立図書館指定管理者 (株)図書館流通センター 岡崎さん・中野さん ・読み聞かせについて ・本の紹介について 紹介方法・展示の工夫・ポップの作成講習	中村西中学校	7名参加

3. 四万十市教育研究会 夏季研修会

(1) 各校の図書館環境づくりの工夫・読書活動への思いの交流

各会員の先生方の読書活動への思いや、学校の環境づくりの実例を交流し合い、読書活動の推進に向けたスキルを身に付けたいという願いを共有した。

(2) 読み聞かせについて

各会員がおすすめの絵本を持ち寄り、本の紹介をしあいながら、様々な本の良さを話し合った。読み聞かせは、心のコミュニケーションの時間であることを確認し、具体的な技術も研修した。

①読む前 条件を考えて選ぶ(年齢・季節・時間・人数など)

本の作りによって選ぶ(大きさ・文と絵の割合・場面割・遠目でも見えるか)

何度か声に出して読み、展開を覚えておく・折り癖をつけておく。

読み手が主人公にならないように(読む人に注目を集めない)

②立ち位置 人数や年齢によって立って読むか座って読むかを選ぶ。

位置関係で光の加減や見え方が変わるため、見えるかどうかを確認する。

③読む際 表紙をしっかりと見せ、タイトルを読んで、お話の入り口に誘う。見返しが無地でも省略せずゆっくりめくる。本の持ち方は絵本の下を片手で持ち、親指を裏側に残り4本を表側にあて、できるだけ絵本を隠さない。ぐらつく時は、もう片方の手で片隅を持ち固定する。

本が読み手の方を向かないよう注意する。

ページをめくるタイミングは、絵を見ている時間に考慮する。起承転結に合わせ特に「転」の場合は少し間を持たせるなど。

めくる際、できるだけ手で絵を隠すことがないように下でめくる。

最後のページ、裏表紙までしっかりと見せ、表紙に戻る(余韻もお話のうち)

④読み聞かせに選ばれる本は？

昔から定番とされているロングセラーには根拠あり

日本や外国の昔話(方言などはその通りに言えなくても問題なし)

物語以外の分野も視野に入れる（自然科学の分野・アイスブレイク系など）
ブックリストや書評誌、インターネットで紹介されている情報を参考に

（３）本の紹介について

- ①方法 展示・おたより・読書会・ブックトーク・ビブリオバトルなど
- ②展示（ポップ）の工夫を実際に作成しながら紹介していただいた。
 - ・旬を活かした展示で興味を広げる（季節・教科書の単元・テレビドラマなどの話題性）
 - ・絵本や作家の世界観を利用した展示（展示本の敷き紙など）
 - ・児童生徒を巻き込んだ「この本おすすめ」のコーナー
 - ・「絵本の観覧車」「ブラインドブック」「謎解きよもよも」など
 - ・時間、経費を節約してできる工夫（１００円グッズの活用）
 - ・全国学校図書館協議会「図書館ごよみ&イラスト１２００」WEB サイト



（ポップ作りに挑戦）



（クリアブックを利用して）



（会員の作成したポップ）

4. 成果（〇）

○各校の図書館環境づくりに生かせる取組交流や研修ができた。